



# レンコンの簡易品種識別法を開発

－産地ブランド力の向上を目指して－

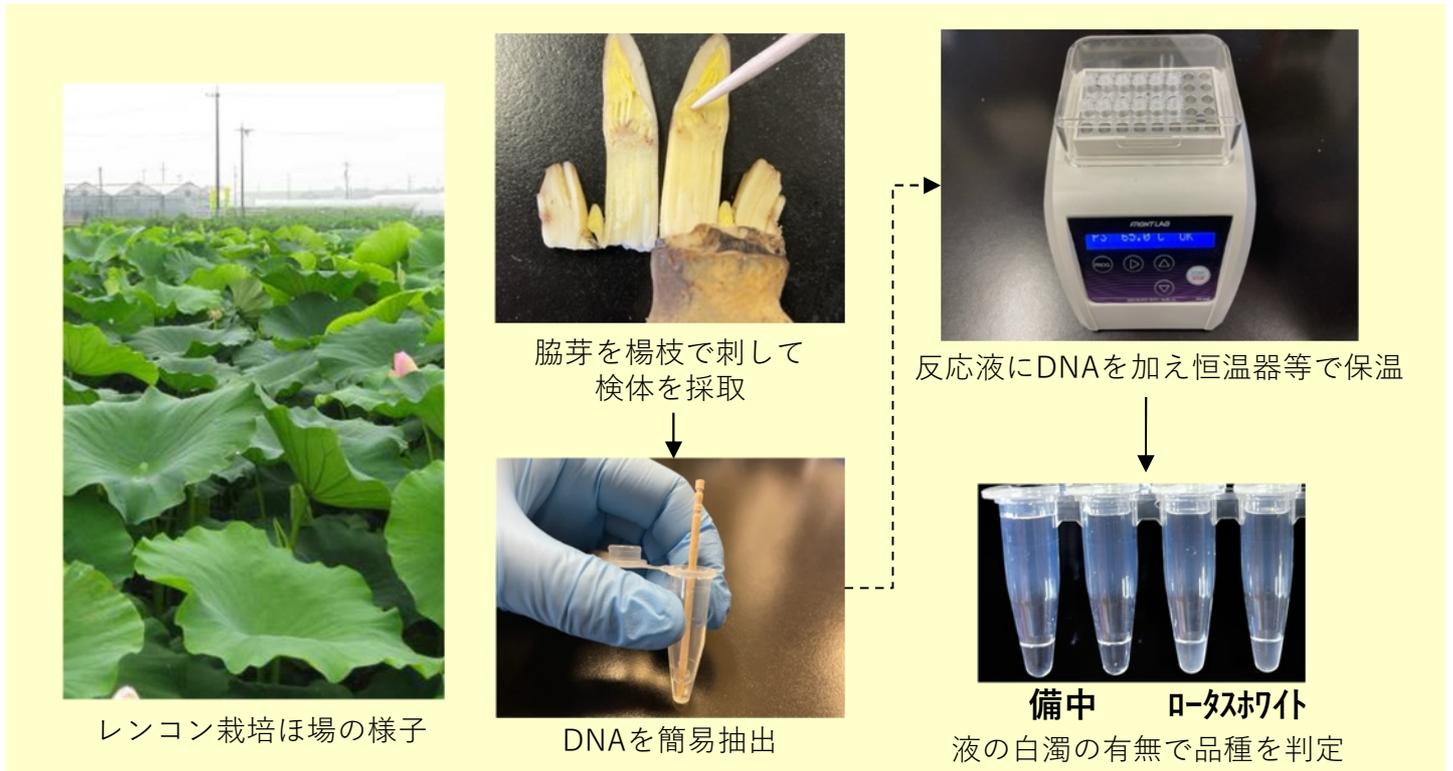
## 開発の背景・ニーズ

近年、農畜産物において地域独自のブランド化により販路拡大を図るため、遺伝子型による品種識別への関心が高まっています。県内でもレンコン産地の持続的発展をめざし、産地ブランドを形成するため品種の管理が求められていますが、外観では品種識別が難しく、栽培特性上、品種の純度維持が課題となっています。

そこで、既存のレンコン品種識別技術を改良し、現場でも実施可能な簡易品種識別方法の開発に取り組みました。

## 成果の内容

- 楊枝でレンコンの脇芽を数回刺し、楊枝に付着した汁液から迅速・簡便に遺伝子型を判定できるLAMP法による簡易識別法を開発しました。
- 主力品種である「備中」、「ロータスホワイト」を識別できます。
- 既存の品種識別はPCR法用の特殊な機械が必要ですが、本法は反応液を一定の温度で30分から1時間保温するだけで目視判定が可能なLAMP法を用いており、生産現場でも品種を識別することが可能です。



## 愛知県農業への貢献

レンコンの脇芽を用いて簡易品種識別を実施し、品種を管理することで、種ハスほ場や栽培ほ場での品種の純度維持に役立ちます。

品種純度の維持により品質のそろったレンコンを出荷することができ、産地ブランド力の向上に寄与します。